

かなぎん 2021

9月期ミニディスクロージャー
営業の中間ご報告



株式会社 神奈川銀行

ごあいさつ

皆さまには、平素より神奈川銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、皆さまに当行をより一層ご理解いただき、身近な銀行として感じていただけるよう、本誌を発刊いたしました。当行の経営方針や業務内容などを紹介しておりますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

わが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、ワクチン接種の普及や政府による行動制限の緩和措置により、経済回復に兆しが見られはじめました。

先行きにつきましては、外需の増加による景気の底上げも期待されますが、新たな変異株流行による感染再拡大も懸念されることから、未だ不透明な状況が予測されます。

金融業界においては、新型コロナウイルス対策資金等の資金ニーズが一巡し、全体としては貸出金残高の増加に落ち着きが見られます。今後は、企業収益の回復を支援していくことが重要となります。

このような経済情勢のもと、当行では、地域のお客さまを支えながら、ともに発展するという願いを込めて、3か年に亘る新中期経営計画「地域密着 かなぎん 絆～あなたとともに～」(2021年4月1日～2024年3月31日)を策定し、本年度より開始いたしました。本計画では、基本理念である「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」を掲げ、【1. お客さま本位の徹底 2. 真のメイン化 3. 収益力の強化】をキーワードとして「営業戦略、チャネル戦略、人財・組織戦略、経営管理戦略、DX(デジタルトランスフォーメーション)戦略」の各戦略を実施し「地域プレゼンス(地域における存在感)の向上」に全職員が一丸となって取り組んでまいります。

そうしたなか、お客さまの利便性向上のため、個人向け窓販商品のラインナップ拡充を図り、2021年6月には神奈川県への寄付スキームを備えた投資信託「グローバルESGバランスファンド」の取扱いを開始しました。また、同年8月には「かなぎん遺言代用信託 きぼうの光」の取扱いを開始しました。今後も更なる商品・サービスの充実に努めてまいります。

今後とも、地元とともに歩む神奈川銀行に、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月



取締役会長

三村 智之



取締役頭取

近藤 和明

プロフィール

名 称：株式会社 神奈川銀行
 設 立：1953年7月30日
 (営業開始：1953年8月14日)
 本店所在地：横浜市中区長者町9-166
 資本金：6,191百万円
 預 金：4,991億円
 貸 出 金：3,853億円
 自己資本比率：9.88% (単体、国内基準)
 店 舗 数：34店舗
 従 業 員 数：382人
 ホームページアドレス：<https://www.kanagawabank.co.jp>
 (2021年9月30日現在)

かなぎんの歩み

1953年	7月	株式会社神奈川相互銀行設立 (資本金500万円)
	8月	横浜市中区弁天通4-62において営業開始
1955年	5月	神奈川県中小企業会館内に本店移転
1976年	6月	預金業務オンライン開始
1978年	11月	新本店 (現在地) 完成、移転
1985年	10月	外国為替業務開始
1987年	6月	有価証券売買業務開始
1989年	4月	普通銀行へ転換、株式会社神奈川銀行となる
1991年	1月	サンデーバンキング開始
1995年	7月	株式会社かなぎんビジネスサービス (現・連結子会社) 設立
1998年	1月	オンラインシステム「STAR-ACE」開始
	12月	証券投資信託の窓口販売業務開始
2000年	10月	第三者割当増資により新資本金51億9100万円
2001年	4月	住宅ローン関連の長期火災保険の窓口販売業務開始
2002年	10月	個人年金保険の窓口販売業務開始
2005年	12月	横浜銀行とのATM提携サービスを開始
2007年	3月	セブン銀行とのATM提携サービスを開始
2009年	7月	医療保険及びがん保険の窓口販売業務開始
2010年	2月	新店舗「高座渋谷支店」オープン
	12月	学資保険及び終身保険の窓口販売業務開始
2012年	7月	新オンラインシステム「STELLA CUBE」開始
2015年	1月	金融商品仲介業務開始
2019年	7月	ローソン銀行・イーネットとのATM提携サービスを開始
	12月	コンビニATMなど各種サービスの24時間化を開始
2021年	3月	第三者割当増資による優先株式発行により新資本金61億9100万円

店舗のご案内 (2021年9月30日現在)

店舗名	所在地	電話番号
本 店	横浜市中区長者町9-166	(045) (261) 2641(代)
横浜橋通支店	横浜市中区長者町9-166	(045) (261) 2641(代)
(ローンセンター)	本店内	(045) (260) 2855(代)
横浜橋出張所	横浜南区真金町1-1	-
洪福寺支店	横浜西区浅間町5-384-1	(045) (311) 3021(代)
上大岡支店	横浜港南区大久保1-20-54	(045) (842) 1861(代)
六角橋支店	横浜神奈川区六角橋2-28-22	(045) (481) 6345(代)
中 田 支 店	横浜泉区中田南3-1-7	(045) (802) 1365(代)
富 岡 支 店	横浜金沢区富岡西7-15-17	(045) (771) 3651(代)
井土ヶ谷支店	横浜南区井土ヶ谷上町21-36	(045) (712) 2111(代)
芹ヶ谷支店	横浜港南区芹が谷2-8-33	(045) (823) 1351(代)
蒔 田 支 店	横浜南区榎町2-41	(045) (742) 2611(代)
本 牧 支 店	横浜市中区本牧三之谷3-23	(045) (623) 3811(代)
末 吉 支 店	横浜鶴見区上末吉5-5-22	(045) (575) 2323(代)
瀬 谷 支 店	横浜瀬谷区南台2-11-3	(045) (303) 0321(代)
岡 村 支 店	横浜磯子区岡村8-1-28	(045) (761) 3314(代)
根 岸 支 店	横浜磯子区西町4-19	(045) (754) 3311(代)
弥生台支店	横浜泉区弥生台13-6	(045) (813) 3711(代)
横浜西口支店	横浜神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビル1F	(045) (411) 2011(代)
戸 部 支 店	横浜西区中央1-8-20	(045) (319) 1385(代)
センター北支店	横浜都筑区中川中央1-29-24	(045) (910) 2230(代)
横須賀支店	横須賀市日の出町1-15-1	(046) (823) 1480(代)
長 井 支 店	横須賀市長井1-17-20	(046) (856) 3141(代)
平 塚 支 店	平塚市平塚2-31-9	(0463) (31) 2981(代)
茅ヶ崎支店	茅ヶ崎市共恵1-2-24	(0467) (82) 7171(代)
辻 堂 支 店	藤沢市辻堂1-1-15	(0466) (36) 3155(代)
藤 沢 支 店	藤沢市鶴沼石上1-5-7	(0466) (23) 2641(代)
六 会 支 店	藤沢市亀井野2-3-1	(0466) (82) 0551(代)
川 崎 支 店	川崎市川崎区宮本町6 明治安田生命川崎ビル1F	(044) (244) 7538(代)
※ 渡 田 支 店	川崎市川崎区宮本町6 明治安田生命川崎ビル1F	(044) (244) 7538(代)
中 原 支 店	川崎中原区市ノ坪30-1	(044) (722) 9121(代)
相 模 台 支 店	相模原市南区松が枝町24-10	(042) (743) 4511(代)
下 大 槻 支 店	秦野市下大槻410	(0463) (77) 2567(代)
桜ヶ丘支店	大和市福田5528	(046) (268) 1001(代)
高 村 支 店	平塚市高村203	(0463) (34) 1011(代)
高座渋谷支店	大和市渋谷5-22	(046) (267) 9921(代)

※渡田支店は2021年5月6日に川崎支店に移転し、
 プランチンプランチ (店舗内店舗) で営業しております。

経営方針

第13次中期経営計画「地域密着 かなぎん 絆～あなたとともに～」2021年4月1日～2024年3月31日（3か年計画）

当行では、「地域のお客さまを支えながら、ともに発展する」という願いを込めて、「地域密着 かなぎん 絆～あなたとともに～」を策定し、2021年4月1日から実施しています。「地域プレゼンス（地域における存在感）の向上」を目指し、私たちの理念である「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」の実現を目標に各種施策を実施してまいります。

私たちの理念

地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行

計画コンセプト

地域プレゼンス（地域における存在感）の向上

重点戦略

キーワード

1. お客さま本位の徹底 2. 真のメイン化 3. 収益力の強化

営業戦略

- 神奈川県内の中小企業および個人のお客さま向け取引の拡大・強化
 - └お客さま本位の営業活動の展開（経営課題解決に向けた支援体制の強化）
 - └お客さま志向の資産運用提案（フィデューシャリーデューティーへの対応）
- 地域活性化への取組み
 - └地域との交流・地域貢献活動の推進
- サービス・商品の充実によるお客さま利便性の向上

チャネル戦略

- 既存店舗の機能強化
- 効率的な販売チャネルの構築・強化（各業務に特化した専門チームの活用）

人財・組織戦略

- 効率的な組織運営（BPRの推進・営業現場の意見反映）
- 人財の確保および育成（専門人財・若手行員の育成）

経営管理戦略

- 経営管理態勢の強化（マネロン・テロ資金供与、金融犯罪への対応強化）

DX（デジタルトランスフォーメーション）戦略

- デジタル技術を活用した組織横断的な態勢の整備
 - └デジタル化の推進強化を目的とした金融サービスや銀行業務のイノベーションへの対応



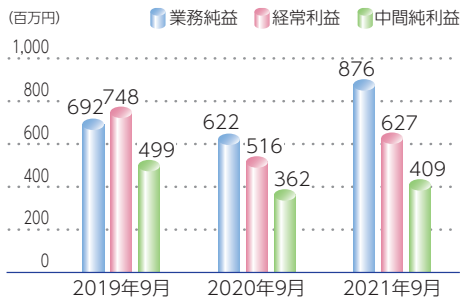
計数目標（2024年3月末）

業容目標	資金量	5,050億円以上	融資量	3,950億円以上
	中小企業等貸出金比率	90%以上	事業性融資取引先数	5,200先以上
収益目標	業務粗利益	78億円以上	業務純益	16億円以上
	OHR（経費率）	78%以下		

経営内容

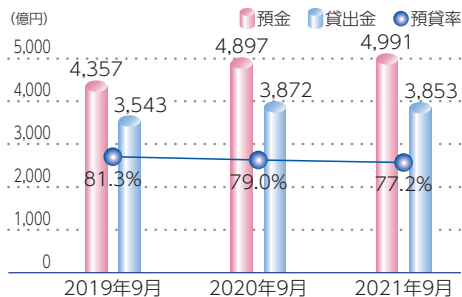
2021年9月期の業績概要

業務純益・経常利益・中間純利益の推移



銀行の本業から生じる業務純益につきましては、8億76百万円となりました。資金の効率的調達・運用による収益力向上や役員取引等収益の増強に取り組みました結果、経常利益は6億27百万円、中間純利益は4億9百万円となりました。

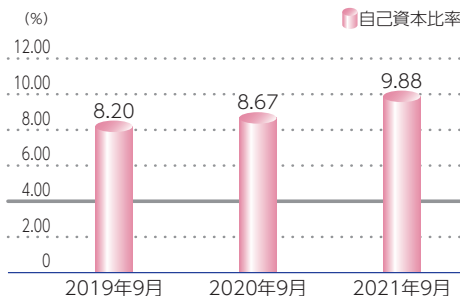
預金・貸出金残高の推移



預金は、法人預金が増加したことで、4,991億円となりました。

貸出金は、地元中小企業向けの融資を推進しましたが、前年同期に比べて19億円減少し、3,853億円となりました。

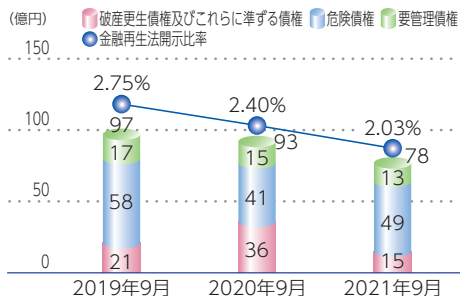
自己資本比率の推移



自己資本比率は、単体9.88%（連結9.94%）と国内基準行が健全とされる4%を大きく上回っています。

今後も良質な資産の積み上げを図るとともに、内部留保の拡充により自己資本比率の向上に努めてまいります。

不良債権比率（金融再生法開示債権）の推移



資産の健全性強化を経営の重要課題と位置づけ、不良債権への取組みを強化しています。その結果、金融再生法の開示基準による不良債権は78億円、総与信に対する比率は2.03%となり、前年同期に比べて0.37%低下しました。

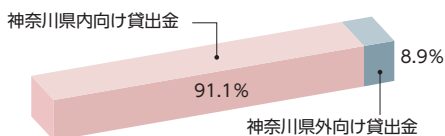
地域への信用供与

当行は地域金融機関として、地域のお客さまからお預かりした大切な預金の多くを、地元である神奈川県内の中小企業や個人への貸出に向けています。

●●● 県内貸出に特化

当行の神奈川県内のお客さま向け貸出金残高は3,510億円であり、貸出金全体に占める割合は91.1%となっております。

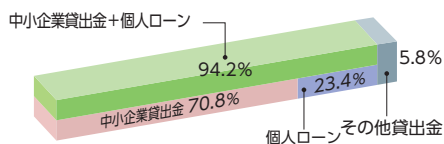
神奈川県内向け貸出金割合（2021年9月30日現在）



●●● 個人・中小企業貸出に特化

個人・中小企業向け貸出金残高は3,628億円であり、貸出金全体に占める割合は94.2%となっております。

個人・中小企業向け貸出金割合（2021年9月30日現在）



●●● 経営改善支援

本部及び外部専門機関と各営業店が連携し、お取引先とのコミュニケーションを密にすることで、経営改善計画の作成・実行などのサポートを行っています。

2021年9月期は、ご支援先124先に対し、債務者区分のランクアップ4先という実績でした。

債務者区分		経営改善支援 取組み先	うち2021年9月期に 債務者区分が上昇した 先	うち2021年9月期に 債務者区分が変化しな かった先
正常先		14	—	7
要注意先	その他要注意先	105	4	101
	要管理先	1	—	1
破綻懸念先		3	—	2
実質破綻先		1	—	1
合計		124	4	112



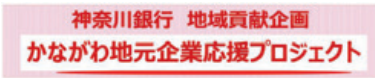
●●● オリジナル・クーポンサイトの開設【かながわ地元企業応援プロジェクト】

コロナ禍における地元神奈川の地域活性化を目的として、当行取引先のオリジナル・クーポンサイト「かながわ地元企業応援プロジェクト」を開設しました。

チラシもしくは当行ホームページに記載されているQRコードからサイトへアクセスしていただき、クーポン画面を該当する施設でご提示いただくことで、様々なサービスを受けることができます。

チラシをご希望の方は各営業店へお問い合わせください。なお、当行ホームページ上の下記バナーからもアクセスいただけます。

<当行ホームページバナー>



●●● 商品ラインナップの充実【かなぎん遺言代用信託 きぼうの光】



2021年8月より、お客さまの幅広いニーズにお応えるため、遺言代用信託の取扱いを開始しました。

こちらの商品は、遺言書を作成いただくことなく、お客さまに相続が発生した際に、お預かりした金銭をあらかじめ指定いただいたご家族などの受取人にお渡しできる商品です。



●●● SDGs事業の普及



当行のSDGsへの取組みを発信するために、中学生向けに講義を行いました。

講義では、寄附型定期預金やESG商品の取扱い、県内の大学との産学連携等を通じて、社会が抱える課題に対して銀行が果たすべき役割について説明しました。

また、SDGsに関するだけでなく、今後社会人として働く上で意識してもらいたいこと等もお話しました。



提携ATMのご案内



イオン銀行



ローソン銀行 LAWSON BANK



セブン銀行



その他、横浜銀行・JR東日本のエキナカATM (VIEW ALTTE) 等と提携しております。
ご利用時間帯・ご利用手数料等の詳細は当行ホームページにてご確認ください。

かなぎん口座開設アプリのご案内



ご来店不要で普通預金の口座開設が可能となる、個人のお客さま向けアプリです。

キャッシュレスサービスのご案内



スマホ決済サービス「メルペイ」に当行普通預金口座から、無料で即時に残高チャージが可能です。

株式のご案内

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 定時株主総会 毎事業年度末日から3カ月以内に開催いたします。
3. 配当金 (1) 期末配当金は、3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、取締役会の決議によりお支払いいたします。
(2) 中間配当金は、取締役会の決議により9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。
なお、配当金のお受け取りは、お近くの当行本支店の預金口座振込をご指定くださいますと早くて便利ですのでご利用ください。
4. 株式事務取扱場所及び取次所
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行 株式会社
取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
取次所 三菱UFJ信託銀行 株式会社 全国各支店
連絡先・受付時間 0120-232-711 (フリーダイヤル) 9:00~17:00 (土・日・祝日等を除く)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
HPアドレス <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
5. 公告方法
当銀行の公告方法は電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、横浜市において発行する神奈川新聞に掲載いたします。
【公告掲載URL】 <https://www.kanagawabank.co.jp/>



発行編集 神奈川銀行 総合企画部
〒231-0033 横浜市中区長者町9-166
TEL 045-261-2641(代)